

## 卒業生が続々と来学してくれました！

未明から夜明けまで断続的に雨が降っていたようです。スマートフォンのお天気アプリによると、今朝の気温は26度。日中は太陽が昇り、気温も上昇し、34度との表示。湿度も高く、空気が重い一日でした。

今日は”海の日”です。平成7年に祝日と制定されました。平成8年から施行され、当時は7月20日が休日でした。平成15年から7月の第3月曜日となったようです。この”海の日”の由来を知っていますか？ある学生に尋ねたら、「海で遊ぶ日」と答えてくれました。この答えは、全く違います。国民の祝日に関する法律があり、条文を調べたところ、「海の恩恵に感謝するとともに、海洋日本国の繁栄を願う日」というのがその趣旨でした。

今日は祝日と言うこともあり、卒業生のKくんが来学してくれました。久しぶりの再会でした。社会で活躍している話をしてくれ、大変嬉しく思いました。「こんな大変なことがあった」と臨場感たっぷりに話してくれたKくんですが、「しんどい」とか言いながらも、やりがいのある仕事に自信が満ちており、爽やかな笑顔が印象的でした。大量のシュークリームを差し入れに持ってきてくれました。夕方にゼミがあったので、美味しく頂きました。研究室で当時と同じ場所に座り、「こうやって面談してもらったあ・・・」、「こうやって座ると、かしまってしまっただ！」や「面談で向き合う席では無く、先生は斜めに座ってくれましたね・・・」とか、懐かしい時間に戻ったようでした。関西のイントネーションで「出来るまでやれ！」と大声で言われ、はじめは怒られたと勘違いした話もしてくれました。あらためて、伝えることの難しさを実感しました。

自分の半分以下の歳である学生と接するにあたり、今日は重要なことを考える機会になりました。昼食時間になったので、一緒に第二食堂に行き、ランチを共にしました。からあげ定食のソースが増えていたことに戸惑い、ワクワクしていたKくんでしたが、数年の経過により、スープとご飯を受け取る場所(ルール)を忘れていました。Kくんが学生時代も、時々ですがランチを共にし、リラックスしている時間に話をすることもありました。その目的は、違った環境で話すことにより、学生が成長するための課題を見つけ、解決の道筋を一緒に考えることです。これは、今も常に考えて学生と接しています。



2017年3月、ゼミ生と卒業式で。



コモンズアカデミアの様子。

私は、学生に嫌われようが、相談があれば目的を達成できるようにすることだけを考えています。例えば、卒業研究の達成、国家試験対策、公務員試験の合格、就職内定、部活動での勝利、時に恋愛、そして学業など、達成方法や優先順位が違うけれど、目的の達成には違いありません。その時、(特に学修面では)学生に好かれようとか、物わりの良い教員になろうとか、全く考えていません。そのようなことを気にしている時点で、絶対に成し遂げることはできないと思っています。Kくんとランチの中で、国家試験対策の話題になりました。当時を振り返り、「あの追い込みはキツかった」「あれだけ追い込んで、「まだやれ」は鬼だと思った」「みんな、先生の事を“鬼”だと言ってた・・・」と言いながら、Kくんは笑っていました。しかし、その次に出た言葉は意外でしたし、とても嬉しかったです。それは、「実際に結果が出て、国家試験に仲間全員で合格できた」「鬼についてきて良かった」と言ってくれました。“鬼”との評価は別にし、私は好かれようとか信頼関係を構築する事を意識していません。でも、「ついてきて良かった」の一言は、この考え方と実践に対する評価だと卒業後にKくんが示してくれたのだと思っています。今、このメッセージを書きながら、あらためて考えています。教員として、私のことを好きか嫌い、信頼するかどうかは私の人間性を見て、学生が決める事なんだと受け止めました。しかし、学生と向き合う際、好かれようとか信頼関係を構築する事を意識せずとも、成し遂げたものへの影響の大きさが証明してくれるものだ実感しました。関係無い話ですが、“鬼”に関しては、鬼を見た事も会ったことも無いのに、失礼な話だと指摘して、談笑しました。

先に、“私は好かれようとか信頼関係を構築する事を意識していない”と書きました。誤解の無いように記しておきますが、相互の信頼を必要としないと言うことです。私は関る学生のことを信頼します。また、伝え方も工夫しています。ここで何を言えばモチベーションが高まるか、テンションを上げるためには何を言えば良いかなど、考えています。私は、ゼミ生やコモンズサポーター、学科の学生、部活の部員、コモンズでセンター長面談を受けに来てくれる学生・・・など、多くの学生を信頼して向き合います。しかし、これら全ての学生が私を信頼しているとは絶対に思っていません。なぜなら、それは学生の気持ちだからです。反対に、信頼関係ができていと認識している時点で、それはおかしいと感じます。学生の感情を、教員が決めることはできません。であるならば、そこには踏み込まず、学生を達成させ、目標を成し遂げるサポートに集中することだと考えています。これからも一生懸命、考えて学生と向き合います。コモンズセンターにお越しください。センター長面談、予約受付中です。

本日、Kくんの他に、Uくん、Sさん、Tくんが訪問してくれ、元気な顔を見せてくれました。Kくんが訪問してくれた最大の目的は、結婚披露宴へのご招待とスピーチのお願いでした。喜んで出席させて頂くことを約束し、スピーチで何を言われても恨まないことを確認して、食堂を後にしました。Kくんの結婚披露宴で懐かしい顔に会えるのがとても楽しみです。

これから期末試験がやってきます。体調管理を十分にし、ベストを尽くしてください。決して、不正行為の無い様に。努力してください。健闘を祈ります。

コモンズセンター長 伊藤 守弘